



「田中正武研究資料, 1929-1997」公開記念展



京都大学コムギ遺伝資源



田中正武博士が残した植物探索の記録

2024.6.20(木)ー22(土)
9:00ー18:00

*最終日は15:00まで

入場無料

旧演習林事務室 ラウンジ

(京都大学 吉田キャンパス 北部構内)



旧演習林事務室



アクセス：京都市バス「京大農学部前」または「北白川」バス停より徒歩約5分

田中正武
Masatake Tanaka

1920ー2001

植物遺伝学者。京都大学名誉教授。
生物学的手法、考古学的手法、文化史的手法を
総合し、作物と進化を解明する「栽培植物起原学」
の学問分野を開拓。個々の栽培植物とその近縁種
について様々な情報を集め、みずからフィールドに
赴き、研究材料を収集する研究手法を用いた。
1959年から1989年にかけて10回以上海外学術
調査に携わり、ユーラシア各地、アフリカ、南米に
おいて栽培植物および近縁野生種の調査と遺伝
資源収集を行った。収集した遺伝資源のうち、特に
コムギとコムギ近縁野生種を系統化し、カタログに
整理し、世界規模のムギ類ジーンバンクの基礎を
築いた。



資料情報：[中近東3] (部分), AGR MIXED 2021/1/S03-1/016-13, "田中正武研究資料, 1929-1997."

京都大学コムギ遺伝資源

田中正武博士が残した植物探索の記録

田中正武博士はフィールド・ワークにより栽培植物の祖先種の自生地を探索し、種子などの植物資料を採集すると同時に、周辺環境情報、農法や利用法といった文化的情報を記録しました。現地調査とその後の比較栽培調査や各種実験で得られた情報を総合し、旧大陸と新大陸における様々な栽培植物の起原を考察しました。

「田中正武研究資料, 1929-1997」には、現地調査の準備から実施後の研究に至る、幅広い一次資料が含まれます。一方で、現地調査で採集された植物資料のうち、コムギとその近縁野生種の種子は、系統化され、遺伝資源として京都大学大学院農学研究科で維持されており、現在のコムギ研究を支えています。

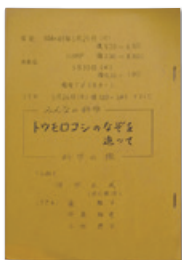
本展では、昨年開催された展覧会「学術探検と遺伝資源」の内容に加え、整理の過程で見出された資料を新たに用いて、現地調査における採集物がどのように分類、系統化され、**NBRP・コムギ**の遺伝資源として整備されてきたのかを紹介します。あわせて、NBRP・コムギの遺伝資源の重要性と、世界の食糧安全に向けた遺伝資源利用の取り組みと展望についても紹介します。



「学術探検と遺伝資源」(2023)



1



3



2



4



5



6

- 1 京都大学東部地中海地域コムギ起原調査隊(1959) 5月10日の移動ルートと調査地 2 写真資料
3 田中博士が出演したテレビ番組の台本 4 播種用具一式および栽培用具一式
5 クサビコムギ(*Aegilops speltoides*)の全草標本 6 野生二粒系コムギ(*Triticum dicoccoides*, KU-195)の全草標本

資料情報: (1) 採集 BMUK I 1959(部分), AGR MIXED 2021/1/S01/003, 「田中正武研究資料, 1929-1997」 (2) [テオシント 6-6] (部分), AGR MIXED 2021/1/S03-1/002-18, 「田中正武研究資料, 1929-1997」 (3) みんなの科学 トウモロコシのなぞを追って 科学の旅, AGR MIXED 2021/1/S11-3/013, 「田中正武研究資料, 1929-1997」

資料所蔵: (1-3および表面写真上・下) 京都大学大学院農学研究科 (4-6) 京都大学大学院農学研究科栽培植物起原学分野 | データ提供: (1) 京都大学研究資源アーカイブ

田中正武研究資料, 1929-1997

田中正武博士の資料群は京都大学研究資源アーカイブの研究資源化プロジェクト(2021~2023年度、事業組織代表者: 寺内良平[京都大学大学院農学研究科])により、資料整理とデジタル化(一部資料)が進められました。2024年6月に「田中正武研究資料, 1929-1997」として、資料の目録とデジタル画像を公開します。

田中正武研究資料, 1929-1997

*6/3公開予定

<https://peek.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>
ark:/62587/ar227828.227828



資料はすべて農学研究科で保存されている

京都大学研究資源アーカイブとは?

京都大学における教育や研究のプロセスで収集または作成された資料群を「アーカイブズ」として永続的に学内外で利用可能にする取り組みです(運営責任部局: 京都大学総合博物館)。

京都大学研究資源アーカイブ

<https://www.rra.museum.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学のコムギ遺伝資源の系統保存事業

NBRP・コムギ

京都大学では木原均博士(1893-1986、京都大学名誉教授)のコムギ遺伝学研究を端緒として、世界各地のコムギとその近縁野生種の種子を収集保存してきました。また、系統として整理し、増殖した種子を、国内外の研究者の求めに応じて研究素材として配布してきました。この取り組みは1952年に文部省の系統保存事業に指定され、2002年以降は、文部科学省ナショナルバイオリソースプロジェクト・コムギとして継承されています(2024年現在、第5期)。

NBRP・コムギ

(ナショナルバイオリソースプロジェクト・コムギ)

<https://shigen.nig.ac.jp/wheat/komugi/>



会期中のイベント

展示解説ツアー

6月22日(土) 11:00~11:30

会場をめぐりながら、
見どころや裏話をご紹介します。

解説: 寺内良平(農学研究科栽培植物起原学分野教授 / NBRP・コムギ課題管理者)

*参加を希望される方は、当日開始時間までに会場にお越しください。

